

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都市長		平成26年7月29日					
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市山科区竹鼻竹ノ海道町91番地		報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) ラクトB管理組合施設部会 部会長 早川 忠 電話 075-501-2702					
主たる業種	その他の建物サービス業				細分類番号	9 2 2 9	
事業者の区分	京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	<input type="checkbox"/>	イ又はウ	<input type="checkbox"/>	エ
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	平成22年度を基準(平成20年度~22年度の平均値)に、平成25年度の温室効果ガス排出量を5%以上削減する。						
計画を推進するための体制	ラクトB管理組合施設部会長を委員長とするラクトB省エネルギー推進委員会において、新たな実行計画の進捗管理と温室効果ガスの削減方法を検討する。						
温室効果ガスの排出量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (20~22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	2,064.8 トン	1,838.3 トン	1,675.7 トン	1,712.5 トン	-15.6 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	2,124.9 トン	1,838.3 トン	1,675.7 トン	1,712.5 トン	-18.0 パーセント	
実績に対する自己評価		計画期間3年の目標削減率以上に温室効果ガスの排出量を削減できた。 ①夏季の空調設定温度を26℃から28℃に変更。②年間を通しての扇ぎ照明の徹底。③給排気ファンの稼働時間の短縮。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	店舗	事業活動に伴う排出の量 (延床面積)	6.94	6.00	5.47	5.59	-18.06 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
実績に対する自己評価		計画期間3カ年の目標削減率以上に原単位当たりの排出量を削減できた。					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		20.0	20.0	26.0	33.0		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	夏季の空調設定温度の引き上げと照明の一部消灯を行った。					
	(24)年度	夏季の空調設定温度の引き上げと照明の一部消灯を行った。					
	(25)年度	夏季の空調設定温度の引き上げと照明の一部消灯を行った。					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えるために実施した措置	措置の内容	非該当					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価						
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	ライトダウンキャンペーンに参加した。						
特記事項							

注1 該当する欄には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。